

# 持続可能に反する 近代農業の問題点

エスコープ大阪は1996年から遺伝子組み換え作物について問題視し、全国の生協や市民団体と遺伝子組み換え反対運動をすすめてきました。その根幹にある視点は、遺伝子組み換え技術は生命に対する特許権を生じさせる手法であることが分かり、そのことだけで生命の設計図である遺伝子を勝手に操作することへの危機感からです。農業・環境・遺伝子組み換えの問題に精通されている印鑰智哉さんに、近代農業が抱える問題点についてお伺いしました。

(聞き手:環境担当常務理事 泉 容子)



日本の種子(たね)を守る会  
事務局アドバイザー  
**印鑰智哉さん**

## 微生物と植物の 共存により究極の 再生可能エネルギーが 創り出される

泉 そもそも私たちの生命(いのち)はどのように成り立っているのでしょうか。

印鑰 水と岩石しかなかった地球に生物が生きたのは46億年前、微生物の誕生からです。微生物は岩石を分解してミネラルや窒素を作り出します。植物はこのミネラルと窒素を養分にして、太陽光と水から光合成をして酸素と炭水化物を作り出します。植物は土壌に炭水化物を放出し、微生物とミネラルを交換することで土壌に有機的構成物を構築します。これにより豊かな土が作られます。また、植物の根を通じて微生物とエネルギーの交換をするために微生物にも根のようなものが発達します。このため日照りでも水持ちが良く、水害でも流されない土壌となるのです。

## 化学肥料・農薬が 土壌を破壊する

私たちが人間は農業により作物を作りますが、単に野菜や米を作るといふことだけではなく、微生物と共存し土そのものを作り出し、光合成により「無」から「有」を創り出すという究極の再生可能エネルギーを創り出しているのです。

泉 今の農業についてどのように思われますか。

印鑰 戦後から始まった近代農業では、農業の効率を上げるために農薬や化学肥料を使用します。農薬の使用により微生物の活性は抑えられ、化学肥料(窒素、リン、カリウム)を使用することで植物は微生物からミネラルをもらう必要がなくなります。植物と微生物とのエネルギーの交換がなくなるので土は作られることなく痩せていきます。そもそも農薬や化学肥料は化石燃料を多大に使用して生成されます。よって地球のエネルギー(土壌)は急激に消費されていくことになります。世界の土壌はあと60年で消滅すると言われています。戦後70年、近代農業が始まりわずか130年で地球から土が消え去るのです。

## 遺伝子組み換え作物の 開発により 農薬が激増

泉 種子法廃止(2面参照)は、私たちがこれまですすめてきた遺伝子組み換え反対運動と同じくすることがあると思います。問題への対抗軸として今後どのような取り組みが必要でしょうか?

印鑰 農薬や化学肥料を作る化学企業は、もともとは材料が同じである爆弾などを作る工場でした。第二次世界大戦で膨れ上がった爆弾製造能力を化学肥料の製造に、生物兵器製造技術を農薬の製造に転換し、戦後は農業分野に進出していくことになりました。いわゆる「緑の革命」と呼ばれるものです。農業の工業化に伴い生産者と消費者の距離が広がり、安全性よりも合理性が重視されるようになりました。これらの化学企業は1996年に遺伝子組み換え種子を開発します。遺伝子組み換え種子と農薬のセット販売で利益を上げ、南北アメリカからアフリカ、アジアまでその市場を拡大しています。遺伝子組み換え作物が世界に広がり、農薬の使用も激増しました。

泉 このままでは私たちの望む安心安全な食べものには手に入らなくなってしまう恐怖を感じます。

私たちにできることは、これまでエスコープ大阪の生産者と組合員が取り組んできたように、自分たちの食べ物がどこでどんな風に作られているか知り、生産者と共に考え、持続可能な生産と消費に取り組んでいくことが大切だと思います。そのためにも消費する仲間を増やしていくこと。そして、全国の思いを同じくする仲間と種子法に代わる法律をつくり公共品種の種子を守ることにも取り組んでいきます。多国籍企業の進出を許さないためにも、これまで以上に遺伝子組み換え作物に反対していくことだと改めて思いました。



昨年11月10日、印鑰さんを招いて開催した学習会「種子法廃止で日本の食はどう変わる?」の様子。

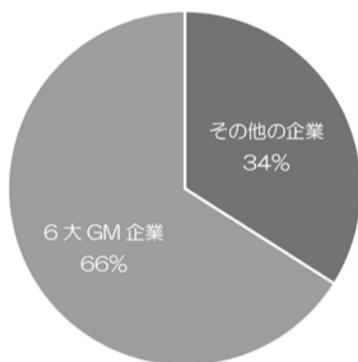
# 主要農作物種子法廃止の裏に 多国籍企業の影あり!?

## 多国籍企業 による 種子の独占

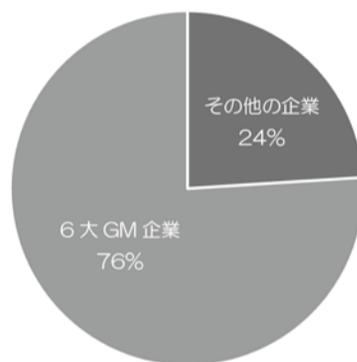
種子法廃止の理由として政府は、この法律の存在が「民間企業の参入を阻害している」としています。廃止することで、民間企業や外資系企業が種子業界へ参入しやすくなるというつもりでしょう。

種子の生産には多くの時間と費用が必要です。種子法の管理下がない、たとえば野菜の種子などは国内生産が難しく、ほとんどが国外で生産されており、品種についても単一化されつつあります。種子企業は吸収合併を繰り返して、6つの多国籍企業(モンサント、シンジェンタ、ダウ・ケミカル、デュポン、バイエル、BASF)が世界の種子市場の6割以上を占めています。これら6つの多国籍企業は農薬や化学肥料を売る化学企業でもあります。また、遺伝子組み換え種子を開発し、特許を取得することで種子の自家採取を禁止しています。さらに、種子の保存や共有することを

6つの多国籍企業が占める割合



2011年の種子市場シェア



2011年の農薬市場シェア

## 生産から 流通までも握り 「食」そのものを 支配

日本では、種子法廃止と同時に「農業競争力強化支援法」を閣議決定しています。これは資材コストや流通コストを引き下げて農業所得の向上を図ることを目的にしています。こう言えば聞こえは良いのですが、実際は農地を集約し、農業の大規模化を図るといっても、家族的小規模農家は締め出され離農を余儀なくさせられます。その一環として「市場法廃止」が検討されています。これが通れば、現在農協を通しておこなっている流通分野に民間企業が参入できるようになります。民間企業と言っても、大きな資本をもつ企業であり、先述した多国籍企業などです。

企業の種子販売形態のひとつに「ライセンス契約」があります。農家はそれぞれ企業と契約します。種子だけをかうのではなく、化学肥料と農薬のセットで販売され、栽培方法まで指示され、農作

## 種子を大企業に 独占させないために 「種子法に代わる公共 品種を守る新しい法律」 をつくらう!

農協や生産者、市民団体などが呼びかけ、生活クラブ連合会、エスコープ大阪など生協団体も賛同し設立した「日本の種子(たね)を守る会」で署名活動を行っています(署名活動継続中)。エスコープ大阪では2017年11月末日で2千53筆が集まりました。今後も新法律の策定に向けて活動を続けます。そして多国籍企業の寡占に繋がる遺伝子組み換え種子の開発に反対します。

物の販売まで企業が行います。これですすめば生産者と消費者は完全に分断されることになり、農協も生協も入り込む余地がなくなります。種子の開発から流通まで企業が支配することになるのです。私たちから食の主権が奪われることになるのです。



「日本の種子(タネ)を守る会」作成の冊子

福祉委員会  
**連続**  
**ライフプラン講座**  
 12月1日(金)  
 12月7日(木)  
 12月11日(月)  
 エスコープ大阪本部

福祉担当理事 齊藤 真由美

**ライフプラン講座を活かして  
 自分で将来設計をする力を**



初めての医療保険を受講すると受けることができる、生活クラブF.P.の会メンバーによる個人相談もおすすです。以前私も個人相談を受け、生命保険を掛け過ぎていたことが分かり、保障を見直すことができました。

12月1日、7日、11日の3日間にわたり、「生活クラブF.P.の会」のメンバーを講師に「医療保険」「損害保険」「教育費」「社会保険・税金」「セカンドライフ」「公的介護保険」の計6回講座を開催しました。お金の管理やいざという時の備えに不安を抱えている組合員が多いのか、延べ58名が参加しました。

医療保険・生命保険は、掛けないと不安だけれど、どのくらいの備えがあればいいか分からず、保険会社の言いなりに掛け金を支払っている方も多いと思います。私はライフプラン講座を受講し、公的な医療保険制度や子どもの教育費の目安、働く時の社会保険・年金、税金などについて学ぶことができ、将来設計を考える良いきっかけになりました。また「はじめての生命保険」か「は

大阪市南・中河内地域準備会  
**（株）青い海生産者交流会**  
 12月12日(火)  
 クレオ大阪中央(大阪市天王寺区)

大阪市南・中河内地域委員 宮本 美由希

**違いを知って、  
 塩を使い分けよう!**

「(株)青い海」の伊集光博さんにお越しいただき、「素朴な調味料だからこそ中身が知りたい!」と、塩と砂糖をテーマに生産者交流会を開催しまし

CO・OP共済や生活クラブ共済「ハグくみ」は、たすけあいの思いから始まった共済です。利益を求めず、民間の保険会社とは違い、最小限の掛金でいざという時の備えになります。また、剰余金は社会貢献に活用されたり、このようなライフプラン講座を開講する補助金として活かされています。学んだ知識をもとに、組合員一人ひとりが自分で保障を選択したり、将来設計をする力を付けることができるという素晴らしいことになっています。この制度を利用できるのは組合員だけです。皆さんもどんどんライフプラン講座に参加して知識を増やし、今後の将来設計に活かしましょう。



まず初めに、消費材の3種の塩の違いについて教えていただきました。

「真塩」は、輸入天日塩(クジラの保護区のエリアで採られた海水が原料)を沖繩の海水で溶解し、平釜で煮詰めたものです。天日塩にはミネラルがほとんどないため(一般的に言われる食塩と同じもの)、沖繩の海水で溶かすことによりミネラル分が

追加して知識を増やし、今後の将来設計に活かしましょう。

「真塩」は、輸天日塩(クジラの保護区のエリアで採られた海水が原料)を沖繩の海水で溶解し、平釜で煮詰めたものです。天日塩にはミネラルがほとんどないため(一般的に言われる食塩と同じもの)、沖繩の海水で溶かすことによりミネラル分が

高塩分濃度が高いわけではなく、塩分が酸化してピンクになっているという話を聞き、とても驚きました。これからは、教えてもらった塩の違いを生かした使い分けをして料理をしたいと思えます。

生産者交流会や料理会などで知ったことを地域の組合員の皆さんに伝えたり、気になる消費材の違いや使い方を紹介したりしていきたいです。

泉北ニュータウン地域  
 まめごころ  
**（株）豆伍心訪問**  
 12月12日(火)  
 大阪府高槻市

泉北ニュータウン地域委員  
 仲村 万希子

**大豆とにがりこだわった  
 お豆腐**



「厚揚げ」、「薄揚げ」、「一口がんとでした。『揚げ油には全くなたね油の一番絞りを使用している為、豆伍心の揚げ類は数日後でも油抜きをせずに調理に使えます。樽谷さんから、原料の大豆はもちろんです。にがりにもこだわりがあることを伺いました。同じ豆乳を使用して、2種類のにがり豆腐を作る実験をしました。試食をしてみると、にがりを変えると味が全く違う豆腐になりました。豆伍心の豆腐は一般的な市販の豆腐よりも豆腐に含まれる大豆の量が多く、こだわってつくっている割にとても利用しやすい価格だと改めて思いました。生産現場を訪れると、今まで以上に消費材に愛着がわきます。これからもおいしいお豆腐を作り続けていただくためにもおおいの組合員と豆伍心の豆腐を食べ続けたいです。

初めに、原料の大豆やにがりの保管庫を見学しました。室温や湿度の影響を受けやすいので、管理を徹底されていました。大豆の7割は、数年前から滋賀県の「竜おうみ米」の生産者が育てた「フクユタカ」を使用しています。

次に、白衣に着替えて製造を見学しました。大豆を浸水し、すり潰して呉汁にし、絞っておからと分け、豆乳に。豆乳に、にがりを混ぜて加熱すると豆腐がで上がります。このように、消泡剤などを使わない昔ながらの製法で、丁寧に作られています。特に豆乳とにがりを混ぜる工程は、従業員のなかでも、担当できる人が2人しかいない繊細な工程とい

**話題の消費材登場** 時短でもう一品! 豆伍心の厚揚げ

僕がおすすめしたいのは、『厚揚げ1丁分(豆伍心)』です。夫婦で気に入っている消費材です。オーブントースターで軽く焼き色がつけくぐらいついて食べるのが好きです。外は少しパリッと中はフワツとして大豆の甘みが味わえます。焼かずに、そのまま冷たいままでもおいしいです。かつお節を上に乗せて、僕はその上に醤油をかけ、奥さんはポン酢をかけます。お好みで、しょうがやわさびをのせるのもおすすめです。簡単で時間もかからないので、おつまみや「もう一品欲しいな」と思った時に重宝します。



厚揚げ1丁分(豆伍心) 237円(税込256円) 4個 (株)豆伍心 木綿豆腐を使用。揚げ油はNON-GMO。

組む滋賀県の提携生産者の大豆も使用しています。また、揚げ油は消泡材を使用しないNON-GMOのなたね油。見た目は市販品と同じでも原料や製造過程が全然違います。ぜひ一度注文してみてください。

共同購入フロア 堺支所 長谷川 猛

**自分の言葉で伝えることを心がけています**



橋谷 佳昭(31歳)  
 エスコープ大阪在籍年数 8年11ヶ月  
 [共同購入フロア]

入協して気がつけば、あっという間に8年の月日が経ちました。当初はエスコープ大阪の知識が全くなく、生協ってどこも同じだと思っていたくらいです。

最初は泉北ニュータウン地域の配送担当で、私の年齢よりもエスコープ歴が長い組合員さんが多いエリアでした。当時はグループ配送が多く、配達現場で組合員さんから多くのことを学ばせていただきました。当時は、組合員さんによく「この消費材おいしいよ」とす

すめていただき、自身で注文をしていました。「豚ミンチだけで、ハンバーグ作ってみよう」と言われ、初めて食べた豚肉100%ハンバーグはあまりのおいしさに家族で驚いたことを思い出します。現在は、配達業務に加え拡大(仲間づくり)業務に携わる機会が多いため、これまで組合員さんに教えていただいたことを、自分の言葉で伝えることを心がけています。もちろん「豚肉100%ハンバーグ」もおすすめしています。

先日、4歳の息子が通う保育園の運動会があり、頑張っている姿を見ましたが、息子と2歳の娘は「パスチャライズド牛乳」が大好きです。息子は「パパより大きくなる」と言っていて、たくさん飲んでいきます。ぜひ皆さんも、「パスチャライズド牛乳」を飲んでくださいな。



## 第9回 理事会報告 <1月10日>

### 【11月度決算報告】

- 供給高 1億9,838万円(前年同月比98.07%)
- 組合員数 18,801名(前月比15)
- 一人あたりの出資金 80,581円

### 【12月の放射能検査結果】

12月は連合消費材980検体、エスコープ大阪独自の消費材4検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

### 【協議事項】

- ①2018年度方針案の提案
- ②理事の補充選任について
- ③たすけあい研究交流会への参加
- ④第6次米政策検討プロジェクト会議第1期答申について
- ⑤「豚肉レシピ集お披露目会」追加予算申請について
- ⑥中井製茶の対応について
- ⑦生活クラブでんきの2018年度の連合会全体契約目標の再確認とエスコープ大阪目標の提案
- ⑧生活クラブ自然エネルギー基金(2018年度)助成申請について
- ⑨総代会までのスケジュールについて
- ⑩バイオサポーターの活動状況の集約について

### 【報告承認事項】

- ①2018年度 生活クラブ連合会政策討論集会と連合会・共済連総会への参加について
- ②生活クラブえほん「お茶にしませんか?」の発注について

「大きく育て福祉の樹」では、エスコープ大阪の「たすけあい」のしくみについて紹介していきます。今回は、エスコープ大阪の「子育てひろば」についてお伝えします。

# エスコープ大阪ならではの 子育てひろば

地縁も血縁もない地域での子育てが多くなり、少子化で子育て中の人と出会う場が少ないといった社会状況があります。エスコープ大阪においても、以前は班を通して年代を超えたお互いさまのコミュニケーションがあり、子育てや消費材などについて気軽に話せる場がありましたが、ほとんどが個配組合員となり、組合員同士のコミュニケーションが築きにくくなっています。

子育て中の組合員や家族が気軽に集える『子育てひろば』の役割は重要です。エスコープ大阪では全地域に子育てひろばを開設しようと、2010年度より各地域で子育てひろばを始め、現在、泉州地域(和泉市・岬町)、泉北ニュータウン地域、堺市街地地域、南河内地域、河内長野・大阪狭山地域の5地域6カ所で子育てひろばを月1回開催しています。

## 子育てサポーターは組合員

それぞれの地域委員会や運営している『子育てひろば』は、子育てサポーター養成講座で専門知識と経験を持った講師から学んだ組合員(子育てサポーター)が中心となり活動しています。子育てサポーターになる方の動機はさまざま。子育てに興味のある方、子育てが終わる方、お母さんの役に立ちたいと思った方、自らも子育て中だけど子育て中のお母さんと話したいと思った方など。

消費材の中から、お子さんには安心して食べさせられるお菓子を、大人にはおいしいコーヒーや紅茶などを用意して待っています。木のおもちゃや絵本なども用意しています。

## 消費材の話もできる 子育てひろば

エスコープ大阪の子育てひろばでは、お母さんに友達ができるだけではなく、お母さんにもご近所のママ友とは違う友達ができるかも。子育てサポーターも組合員なので、日常のことや子育ての話だけでなく、食の問題や消費材の話で盛



泉州地域の岬町(上)と和泉市(下)の子育てひろば



お母さんはおいしいコーヒーを飲みながらおしゃべり。子どもたちは子育てサポーターと楽しく遊んでいます。

り上がることもあり、組合員同士ならではの時間も持てます。「カタログに載っている消費材、食べたことある?おいしいのかな?」「石けんの使用の方がどうもうまくいかないんだけど...」など、消費材を仲立ちにして初対面でも共通の話ができます。もちろん、組合員でなくても参加できるので、お友達といっしょに参加できます。お孫さんと一緒の方、妊婦の方の参加も歓迎です。各地域委員会から発行されている『地域ニュース』や『りっふる』4面に開催案内が載っています。確認してぜひ出かけてみてください。

福祉担当理事 浦和子

## おたよりネット

「りっふる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

181号2面「全部見せます! エスコープまつり2017」を読んで

紙面モニターさん

「エスコープまつり」に初めて参加しました。盛りだくさんな内容の中で、私の心を一番つかんだのは野外ブースでの販売でした。かねてから子どもの好きな屋台での飲食に抵抗があり、残念に思っていました。安心・安全な消費材で作られたおでんは感動的なおいしさでした。信頼があるからこそ安心して食べられる(エスコープ大阪の)個配を続けている理由です。

181号3面「サークル紹介 シュタイナーに学ぶ市民グループ エリカサークル」を読んで

紙面モニターさん

シュタイナーに興味があるので、このようなサークルがあることを知り、おもしろそうだなあと感じました。組合員自身の世界を広げていくことをサポートしてくれるという生協のもうひとつの一面をもっと多くの人に知ってほしいと思いました。

## Ripple おたよりネット

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事會事務局行き  
182号(2018.2.26)

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

### 編集後記

ゲノム編集学習会に参加しました。技術のひとつ「CRISPR/Cas9」は費用が安くすみ世界で研究が加速しています。遺伝子組み換えよりも精度が高く痕跡が残りません。しかし標的外的変異がないわけではなく基礎研究も不十分です。この名前、なかなか覚えられなかったのですが、覚えてたの言葉を子どものように連呼する仲間がいて、今では危機感とともに「クリスパーキャスナイン」が頭を離れません。(O)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co パックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

http://s-osaka.seikatsuclub.coop/